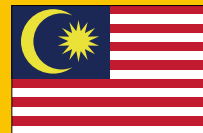


「マレーシアで学ぶアジアの環境と開発」

マレーシア

ジョホールバル

参加費用
(目安)

30～35 万円

本学支援金

約8万5千円適用後

※その他必要な費用や支援の詳細は31ページにて確認してください。

留学期間(日本発着)

2026年2月20日(金)～3月9日(月) 18日間

【出発】関西空港

おすすめPOINT

- ▶ ディスカッションやプレゼンで英語力UP!
- ▶ 現地学生バディと授業内外で交流できる!
- ▶ シンガポールへの観光あり!

都市・大学紹介

都市 クアラルンプールに続いて2番目に大きい都市で、シンガポールとの国境沿いに位置している。中心部はレストランやモールが立ち並び都会的だが、郊外は自然豊かで穏やかに過ごすことができる。多民族国家のため、多彩な文化が融合しており、異国情緒あふれる建築物や文化を楽しむことができる。

大学 研究開発が盛んなマレーシアで最も古い国立工科大学。アジアトップの名門校。メインキャンパスはジョホールバル郊外のスクダイにある。工学、情報技術、建築、都市計画、経営学など多くの分野で、技術革新とイノベーションを生み出している。日本語教育にも熱心で、日本語が話せる学生も多い。

スケジュール

出発 【航空会社】シンガポール航空
深夜関西空港発 翌日朝シンガポール空港着
現地校の送迎にてマレーシア・ジョホールバルへ

滞在中

- ・オリエンテーション・講義
- ・フィールドワーク
(Malay Cultural Village, Johor Bahru City Tour等)
- ・グループディスカッション
- ・宿泊体験 1泊2日 (Kukup Village)
- ・Farewell Party
- ・シンガポール観光(自由行動) 2泊3日

帰国 深夜 シンガポール発 午前 関西空港着

形態	オープン型(他国・日本の他大生を含む可能性あり)	人数	12～25名 ※書類選考にて参加者を決定
滞在	大学内のアパートメント(2名/1室) ※バス・リビングは1ユニット4名で共同利用		
食事	なし	単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)
要件	語学要件：なし(目安あり ※その他参考) ※学部・回生など応募資格を確認してください。		
査証	日本国籍：不要/パスポート有効期限：入国時+6カ月以上		
その他	別途、食費が必要です。		

【語学要件】語学要件はありませんが、現地での英語による講義を受講し理解するためには、目安として記載レベル以上の語学要件が必要になります。

英語力が十分でない方は、参加までに英語力を伸ばすように努めてください。

TOEFL ITP®テスト480点(iBT®テスト 54点)以上/TOEIC®L&Rテスト 530点以上

【事前・事後研修】事前・事後に担当教員による研修が実施されます。成績評価に関わる研修です。必ず出席するよう事前に予定してください。

・事前講義：12月21日(日) KICにて実施

・事後講義：未定 ※時間・教室等の詳細は決定後、manaba+R でお知らせします。

プログラムの特徴

- 海外スタディプログラムは、学内での学びを海外で実践する場として位置付けられており、あらかじめ設定したテーマに基づき学習するプログラムです。本コースは、「アジアの経済・環境・開発」をテーマに、講義・フィールドワークを組み合わせたプログラム構成となります。出発前の事前研修、現地でのプログラム参加、そして帰国後の事後研修という一連の過程により、各プログラムのテーマについての理解を深めます。
- マレーシアとアジア諸国における持続可能な開発の様々な取り組みに焦点を当て、マレーシアの文化・経済・環境についての知識を広げます。現地学生バディや他大学参加者との共修を通じて、情報収集能力、プレゼンテーションスキルを高めます。
- フィールドワークでは、ジョホールバル市内、新行政区、マレー文化村などを訪問し、ククップ漁村での宿泊体験では、カルチャーナイトという学生間の異文化交流の機会があります。現地研修終了後には、シンガポール2泊3日観光も予定しています。

コース検討参考



◀ 参考資料



◀ プログラム HP